

## 2 住宅・世帯の概況

### (1) 総住宅数と総世帯数

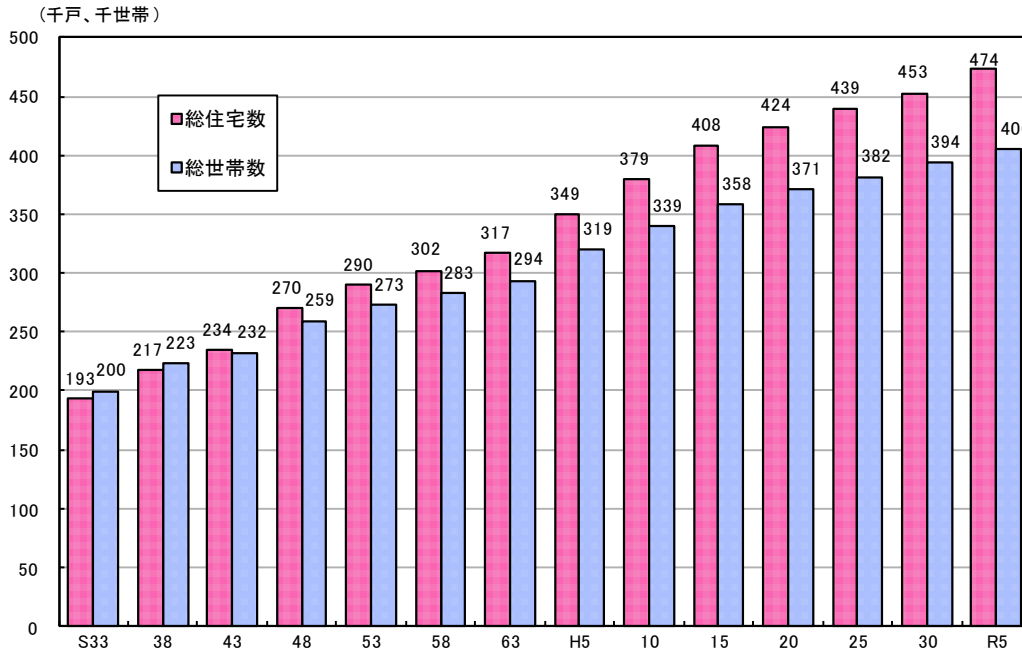
総住宅数は473,900戸、5年間で4.7%の増加

表1 総住宅数、総世帯数、世帯人員、1世帯当たり住宅数及び1世帯当たり人員の推移—富山県  
(昭和33年～令和5年)

(戸、世帯、人、%)

	総住宅数	総世帯数	世帯人員	1世帯当たり住宅数	1世帯当たり人員	総住宅数増加率
昭和33年	193,000	199,800	995,000	0.97	4.98	
38年	217,000	222,700	1,027,700	0.97	4.61	12.4
43年	234,490	232,100	1,011,610	1.01	4.36	8.1
48年	269,900	259,300	1,065,100	1.04	4.11	15.1
53年	289,800	273,200	1,091,400	1.06	3.99	7.4
58年	302,100	282,500	1,112,000	1.07	3.94	4.2
63年	317,300	293,700	1,120,200	1.08	3.81	5.0
平成5年	349,300	319,400	1,120,700	1.09	3.51	10.1
10年	379,100	339,400	1,125,900	1.12	3.32	8.5
15年	407,700	357,900	1,116,800	1.14	3.12	7.5
20年	424,300	371,100	1,100,800	1.14	2.97	4.1
25年	439,000	381,700	1,075,400	1.15	2.82	3.5
30年	452,600	394,000	1,050,100	1.15	2.67	3.1
令和5年	473,900	405,500	1,006,400	1.17	2.48	4.7

図1 総住宅数及び総世帯数の推移—富山県(昭和33年～令和5年)



令和5年10月1日現在における富山県の総住宅数は473,900戸、総世帯数は405,500世帯となっており、平成30年に比べ、総住宅数は21,300戸(4.7%)増、総世帯数は11,500世帯(2.9%)増となっている。総住宅数は昭和43年から総世帯数を上回り、その差は拡大を続け、令和5年には総住宅数が総世帯数を68,400戸上回っている。

1世帯当たりの住宅数は1.17戸、1世帯当たりの人員は2.48人となっている。

<表1、図1>

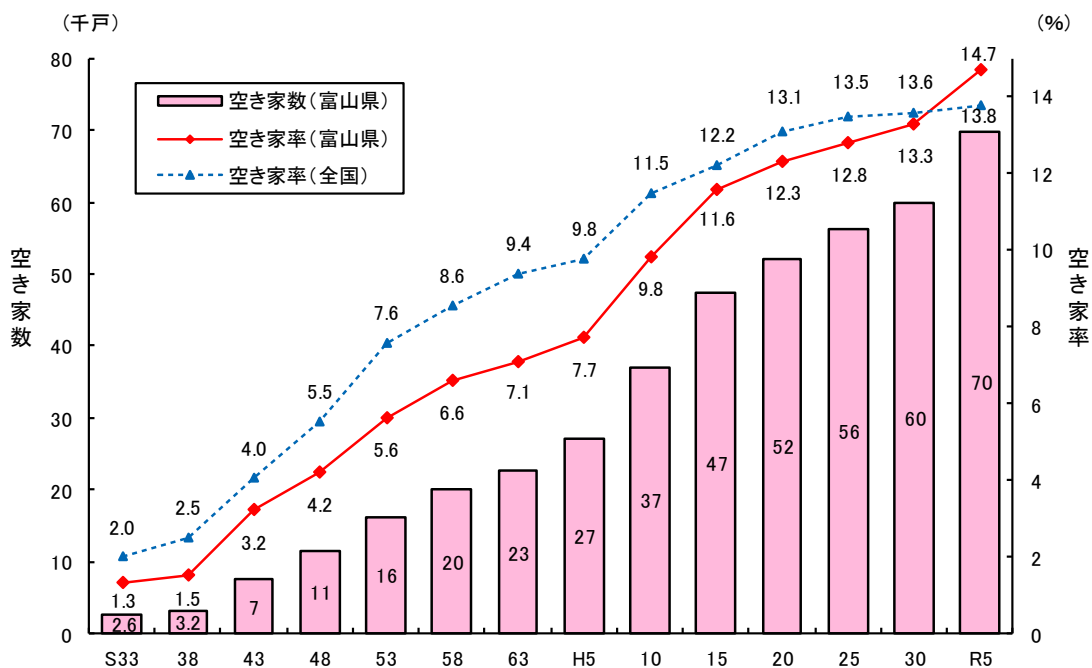
## (2) 居住世帯の有無

総住宅数の14.7%が空き家

表2 居住世帯の有無別住宅数及び空き家率の推移—富山県(昭和33年～令和5年)

	総住宅数	居住世帯のある住宅数	居住世帯のない住宅数			空き家率(富山県)	空き家率(全国)
			一時現在者のみ	空き家	建築中		
昭和33年	193,000	189,000	230	2,600	600	1.3	2.0
38年	217,000	212,000	480	3,200	1,000	1.5	2.5
43年	234,490	225,100	840	7,440	1,110	3.2	4.0
48年	269,900	254,300	2,100	11,400	2,200	4.2	5.5
53年	289,800	269,900	2,200	16,100	1,700	5.6	7.6
58年	302,100	279,600	1,600	20,000	900	6.6	8.6
63年	317,300	291,300	2,100	22,600	1,300	7.1	9.4
平成5年	349,300	317,700	3,100	27,000	1,500	7.7	9.8
10年	379,100	337,400	2,900	37,100	1,600	9.8	11.5
15年	407,700	355,700	3,600	47,300	1,100	11.6	12.2
20年	424,300	368,800	2,800	52,200	600	12.3	13.1
25年	439,000	379,800	2,000	56,200	900	12.8	13.5
30年	452,600	390,900	1,000	60,000	600	13.3	13.6
令和5年	473,900	401,900	1,600	69,700	700	14.7	13.8

図2 空き家数及び空き家率の推移—富山県(昭和33年～令和5年)



住宅を居住世帯の有無別にみると、居住世帯のある住宅は401,900戸で、総住宅数に占める割合は84.8%、居住世帯のない住宅は71,900戸で、総住宅数の15.2%となっている。

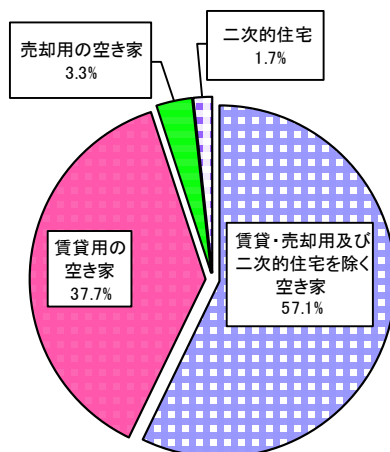
居住世帯のない住宅のうち、「空き家」は69,700戸となっており、平成30年に比べ9,700戸増加している。総住宅数に占める空き家の割合(空き家率)は14.7%(全国13.8%)で、平成30年から1.4ポイント上昇し、過去最高となっている。

<表2、図2>

### (3) 空き家の内訳

空き家のうち半数以上が「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」

図3 空き家の内訳—富山県(令和5年)



空き家 69,700 戸の内訳をみると、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」が 39,800 戸で空き家全体の 57.1% を占め、「賃貸用の空き家」が 26,300 戸 (37.7%)、「売却用の空き家」が 2,300 戸 (3.3%)、「二次的住宅」が 1,200 戸 (1.7%)、となっている。平成 30 年と比べると、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」(3.4 ポイント増) 及び「売却用の空き家」(0.8 ポイント増) の割合がそれぞれ増加している一方で、「賃貸用の空き家」(3.8 ポイント減) 及び「二次的住宅」(0.6 ポイント減) の割合がそれぞれ減少している。

< 図 3 >